

授業科目 解剖学 I

【担当教員名】 山口 康昭、西野 幾子	対象学年	1	対象学科	理学・作業
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	

【概要・一般目標：G10】  
解剖学 I では、人体の基本的構造を全体的に理解する。特に運動器、神経系以外の器官・組織系、内臓系（消化器・呼吸器・尿生殖系）、循環器系、感覚器系、内分泌系についてそれぞれの形態・構造を理解する。

- 【学習目標・行動目標：SBO】
1. 解剖学、形態学とは何かを説明できる。
  2. 組織を構成する細胞の構成要素の名称と簡単な機能を説明できる。
  3. 種々の組織の分類とその特性を概説できる。
  4. 解剖学的姿勢を説明し、解剖学用語を適切に使える。
  5. 消化器系を構成する器官、その付属器の名称、位置を説明できる。
  6. 鼻腔から肺胞に至る気道を構成する各器官の名称、位置を説明できる。
  7. 尿生殖系を構成する器官の名称、位置ならびに簡単な機能を説明できる。
  8. 主な内分泌腺の名称と位置、分泌されるホルモンの名称を言える。
  9. 心臓の位置、各部位の名称を言える。大循環・小循環を概説できる。
  10. 特殊感覚を司る各器官の名称、位置ならびに簡単な作用を概説できる。
  11. 口腔・顎顔面部の発生の概略を理解し、説明できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	解剖学序論 解剖学とは 解剖学用語	1, 4	講義
2	組織学 組織学総論 細胞と四大組織	2, 3	講義
3	内臓学 - 1 消化器系、呼吸器系	5, 6	講義
4	内臓学 - 2 尿生殖系、内分泌系	7, 8	講義
5	循環器系 - 1 心臓	9	講義
6	循環器系 - 2 大循環と小循環	9	講義
7	感覚器系 味覚器、視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器、外皮	10	講義
8	人の発生 頭頸部・顎顔面部の発生	11	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のための解剖学 第4版	渡辺 正仁	廣川書店	2009・5,800円＋税
参考書	人体解剖学	藤田恒太郎	南江堂	2000・9,233円＋税
その他の資料				

【評価方法】 出席状況・態度（遅刻、私語、居眠り等）、期末試験の総合評価	【履修上の留意点】 短期間で広範囲を勉強します。欠席をせず、復習を欠かさないことが重要です。
---	---